

令和2年度第4回宗像市介護保険運営協議会

期 日: 令和2年11月5日(木)
時 間: 午後6時30分～午後7時41分
会 場: 宗像市役所 103A会議室
(北館1階)

<出席者>

【委員】

岡山委員【副会長】、小川委員、萩田委員、鴨川委員、坂元委員、渋谷委員、友添委員、林田委員、
姫野委員、藤城委員、本郷委員、三宅委員【会長】、矢島委員、山崎委員 (五十音順)
(欠席)
中村委員

【事務局】

北原健康福祉部長、衣笠保険医療担当部長、福嶋介護保険課長、早川高齢者支援課長、恵谷福祉課長、林田健康課長、西川健康課参事兼健康サポート係長、山口高齢者支援課参事兼地域包括ケア推進係長、高宮高齢者支援課主幹兼地域包括ケア推進係長、花田福祉課主幹兼保健福祉総務係長、副田高齢者支援課高齢者サービス係長、佐藤介護認定係長、安川審査指導係長、西村介護保険係長、椎葉介護保険係主任主事

<会議次第>

1 開 会

2 会長挨拶

3 議題

(1) 審議事項

○第8期計画素案について【資料1】

(2) その他

4 閉会

1 開会

【事務局】

すみません、定刻前ではございますが、一応、御出席予定の委員の方がお集まりいただいておりますので、ただいまより、令和2年度第4回、介護保険運営協議会を開催したいと思います。

本日はお忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の司会進行を担当させていただきます、介護保険課の福嶋です。よろしくお願いいたします。

まずは、事前に配付しています資料の確認でございますが、今回は、資料1、第8期宗像市高齢者福祉計画介護保険事業計画（素案）、この1部でございます。お手元でございますでしょうか。

あと今回、約1時間経ちましたら、換気のために3分ほど窓を開けさせていただきたいと考えておりますので、その点御了承いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

1、開会でございます。本日の欠席は事前に連絡いただいております中村委員が1名、あと、本郷委員が現在、こちらに向かっておるといことでちょっと遅れるという連絡をいただいております。従いまして、委員の過半数以上の御出席をいただいておりますので、宗像市介護保険運営協議会規則第5条第3項により、定足数を満たしており、会議が成立していることを御報告いたします。

次に、議事録署名委員の選任でございます。議事録署名委員は名簿順によりまして、今回は林田委員になっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、2、会長挨拶ということで、三宅会長、よろしくお願いいたします。

2 会長挨拶

【会長】

皆さんこんばんは。もう秋も深まって寒い中、また、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

本日も、忌憚のない御意見、そしてスピーディーかつ慎重な審議を行ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。

それでは、これからの進行は会長にお願いいたします。

3 議題

(1) 審議事項

【会長】

はい。今回の運営協議会では、計画策定に当たりまして、御審議いただきたい事項が1件ございます。忌憚のない御意見をお願いします。

それでは、1、審議事項、第8期宗像市高齢者福祉計画介護保険事業計画素案について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

・「第8期計画素案について（資料1）」

<事務局説明>

【会長】

はい、ありがとうございました。

今、8期の素案について御説明がありましたが、何か御意見、御質問、何でも構わないと思いますが、どなたかいらっしゃいませんか。どうぞ。

【委員】

3点ございます。25ページなんですけど、働きながら介護の継続意向についてなんですけど、

25ページですね。これは、自分もケアマネジャーを大分調査したんですけど、同じような結果になっていて、これでもやっぱり8割以上は何らかの問題があるというふうに思いますので、

18.5%だけは問題ないという回答結果なので、ここは何か考える必要があるんじゃないかということが1点でございます。

2点目が、67ページまで飛びますが、高齢者の生きがいの構成についてのADLとか身体的な動作能力が大きな要因になっているということなんですけども、この「生きがいがあり」というところで、もしわかれば、生きがいの内容というか、宗像市の方々はどういうところに生きがいがあるのかっていうのがわかれば、ちょっと教えてほしいなと思います。あるいは、WHOのQOL尺度等を用いて、宗像市の高齢者の生活の質の満足度はどうなのかとか、そういうものを測っていくと将来的にいいのかなというのが2点目でございます。

最後ですね、食事の配食サービスのところがあったんですけども、高齢者の孤食の問題が大きな問題になっていまして、独りぼっちで御飯を食べるという問題がありまして、データを見てみるとやっぱりひとり暮らし高齢者が多いようですので、やっぱり見守りも必要ですけども、何らかの孤食を防ぐような見守り活動が社会参加にもつながっていくと思うので、孤食を避けるような、何か仕組みを今後考えてもいいんじゃないかというのが、3点でございます。

【会長】

いかがでしょうか。今の御質問、御意見に対してお願いします。

【事務局（コンサル）】

はい。今御質問いただいた中で、私のほうで回答ができるところが、2つ目の質問のところですかね。

生きがいについてどういった内容があるのかという御質問なんですけども、こちらについては、自由意見等を分析することによって、そのキーワードが出てくれば分析が可能だと思いますので、ちょっと、検討いたします。

【会長】

ほかはよろしいでしょうか。どうぞ。

【委員】

認知症に関してのページですが、大体50ページから51ページのところです。

私、民生委員になりまして13年たちますが、地域での認知症はやっぱり年々増えてきております。それを見て、訪問していろいろお伺いするわけですけども、老々介護になっていらっしゃる、片方が認知症、例えば、86歳の御主人が認知症で、81歳の奥様が介護している。そうなりますと、86歳の認知症の方も心配なんですけれども、81歳の奥様のほうも、もう、ちょっと怪しいぞという状況で、そういうときの認知症の対応とか、そういうことも、何らかの形でサポートを入れていきたいということと、もう1点、大牟田で、何て言ったかな、ほっと安心ネットワーク模擬訓練というのがあって、認知症コミュニティ推進事業というんですけども、それは宗像市の方はどなたか視察に行かれたりということはおありでしょうか。宗像市でも講演会がありまして、例えば私が認知症とします。その認知症の人が、認知症じゃないんですけども認知症のダミーです。その人を地域の人たちでどういうふうの良い状態に誘導していくかということを見守りながらというのを全世代でやるんです。幼稚園の子ども、小学校・中学校・高校、宗像市には大学が2つもあります。教育大もいろんな形で福祉の専門家、それから、看護大はもちろんですね、そこも一緒になって、それこそ先ほど出てきた啓発、それから、介護サービスの、ここです、86ページの人材の育成、86ページの一番下に「教育の観点で」というのがありますが、ボランティア活動やわくわくワーク、そこにもつながっていくんじゃないかと思います。ぜひ、私申し込みしたんですけども、個人じゃ駄目だって言われたんです。何かこう社協さんなり、市の職員の方々なり一緒に連れて行っていただくしか、もちろん旅費とか宿泊費とか、そういうのは個人で出して構わないんですけども、ぜひそこを勉強させていただきたい、勉強したい。これが宗像市のためになるんじゃないかと思って、提案させていただきました。もし、今後そういうことがありましたら、ぜひ、子どもたちも一緒に、日の里の中では東小学校の生徒が認知症の方を救助して表彰されていますし、近所の、うちの近所でも溝にはまり込んだおばあさんを救い出したりとか、そういう、いろんな事例が私のところに13年の間には聞こえております。良い方向に行きますように、どうか大牟田のことも少し頭に置かれて、先々よろしく願いいたします。

【会長】

認知症支援ということで、何か市のほうから。

【事務局】

まず大牟田市の件でございますけど、詳しくは大牟田市の白川校区の取り組みだと思っておりますけど、そちらに関しては、宗像市が行ったということはないんですが、国、九州の厚生局が市町村職員向けに講師をお呼びして、白川校区の取り組みとかをみんなで勉強したりとか、それは私も参加しましたけども、他にも聞いた職員はいますので、こういった啓発に関しては、今回の計画でいきますと、50 ページでありました、②認知症地域支援・ケア向上事業の実施ということで、認知症地域支援推進員を中心に取り組むことになっておりまして、どのような形が本市にとっていいかというところで、今のところ本市の一番、認知症の取り組みで県の中、福岡県内 60 市町村ありますけど一番御評価いただいているのが、やはり小学校、中学校、加えて宗高と東海大学付属福岡高校で認知症サポーター養成講座をやっているというところが、因果関係は証明できませんけど、先ほど日の里でも小学生が声かけしてという事案ございましたけど、それもやはり何らかの影響を及ぼしているだろうというところですね。

実際、今年度はコロナの関係でなかなかちょっと、小学校、中学校、高校でのサポーター養成講座は組んでないところもあるんですけど、一昨年度においては宗高で認知症カフェも実施しましたので、宗像市としてそういった社協が取り組んでいる福祉教育の中に、認知症サポーター養成講座に取り組むというところで、若年層から普及啓発に取り組ませていただいているところですけど、今御意見がありましたように、認知症地域支援推進員も毎月 1 回ミーティングするなどして、今後どうしていくかというところを考えておりますので、また、いろんな御意見をいただければ、それをまた協議させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【委員】

この人材確保ということがありましたね、86 ページの。そういう啓発活動によって、少しはこういう職業もあるんだっていうところから入れるかなと思って意見を申し上げました。

【事務局】

はい。加えまして、43 ページに、一番上に書いてあります、「認知症は当事者の方やその家族だけの問題ではなく、市民一人一人の問題と捉え」というところなんですけど、やはりここも本市としては重要視しているところで、実際 3 年前に発行しました「認知症ケアパス」ですね、その冒頭の挨拶のところに、これを実際表現していることで、認知症の方とその家族だけの問題でなく、市民一人一人の問題というところで普及啓発を図ってまいりたいと思っておりますので、引き続きいろいろ貴重な御意見いただければと思います。

【会長】

はい、ありがとうございます。ほかにございませんか。どうぞ。

【委員】

今度、日の里団地を再生して、何かいろんなコミュニティをつくるというのを新聞で読んだんですけど、その中に福祉関係のことが全然入ってなかったように新聞報道ではですね。

宗像市としては日の里をシニアタウンというか、高齢者が住みやすいまちにしたいというのが、前の会議のときもちょっと意見として出ていたと思うんですが、あの事業に福祉関係の事業も入っているのかどうかをお聞きしたいと思います。もし入ってないとすれば、せっかくああいう設備をつくって再開発をしているので、ぜひそういう交流の場というんですかね、誰でも行けて、気軽に行ける場所を提供していただく、確保していただいたらいいんじゃないかと思っております。

【会長】

今の件につきましては、何かございますか。

【事務局】

48 棟の再生の中に、障害者福祉施設の予定の部屋が 2 部屋ほどございます。今、法人の方と、どういった事業ができるかという相談を受けております。小学校が近いので、子ども関係の障がいのある事業ができるか、もしくは就労関係ですね。障がい者の働く場、そういった検討をされておりました、御相談を受けながら進めています。

【会長】

はい、ありがとうございます。ほかに何か。どうぞ。

【事務局】

先ほど委員さんの御質問に対して1個回答漏れがありましたので、先によろしいでしょうか。

高齢者夫婦の欄に、老々介護の状態だとか、そういった御意見があったんですけど、そちらに関して、今取り組んでいるところとして、50 ページの一番上の、②認知症地域支援・ケア向上事業の実施の中で、上から3行目に「支援ネットワークの構築」というところがございますけど、これは現状として、個別事案としての支援ネットワークというのは、各地域包括支援センターの専門職が認知症地域支援推進員を兼ねておりますので、個別事案に応じて実際ネットワーク構築をして見守っているケースというのは多々あります。

一つの事例を挙げれば、ひとり暮らしのある地区で、認知症の高齢者がいらっしゃって、その方は必ず毎日あるコンビニエンスストアに行かれるということで、それで、そのコンビニエンスストアの人と、あと民生委員さんとかとみんなで話して、そしてコンビニエンスストアに来ない日があったら、ちょっと誰かに連絡してもらおうようにして、そういった形での見守りとか、個別での支援ネットワーク形成をつくっていますので、もしそういった心配な方がいらっしゃれば、担当する地域包括支援センターのほうに、ぜひ情報提供をしていただければ、そういった取り組みを実施してまいりますので。当然そういった、その方々によって支援する方というのは地域の方であったり隣人の方であったりしますので。そういった取り組みをしていますので、申し訳ございません、先ほど回答が漏れました。

【会長】

はい、どうぞ。

【委員】

何でも結構ですということなんで発言させてもらいます。

8期の計画というのは、75歳以上の団塊世代が75歳になる第9期に向けての8期の計画と思うんですね。これの計画を読ませていただいて、なるほどこういうことをするんだなとよくわかりました。ただ9期に向けて、その事前準備のところ、こういうところをこの8期でやっていくんだということをもう少し明確にされたほうがいいのかという印象を持ったのが一つ。

今の説明の中で、この8期の中で取り組んだことを幾つか言われましたけども、もう少しそれが明確にわかるような、例えば太字で表示するとか、何かせんとこれは恐らく成案になったらいろんな場で説明されると思うんですけども、そういった見た人がわかるような計画に仕上げしてほしいなというのが1点。

それと、これは7期から引き続いてきているものもあろうかと思うんですね。ですから7期で積み残したものは何か、終わったものは何かと。要するに振り返り、これも含めて、附属資料になればいいのかなあというような感じは持ちました。

それは、事務局のほうでどうされるかわかりませんが、過去を振り返っての8期、それからの9期を見据えての8期、そういうスタンスでの説明が必要ではないかなというふうに思いましたので、ちょっと感想を述べさせていただきました。

それと、あと具体的などころですけれども、63 ページに、有償ボランティアの推進というところで、先ほどこれは、この8期の中で取り組んでいくということの御説明がございましたけども、これは確かにいろんな福祉会等で、コミュニティの中で話す中で、やっぱりボランティアの人のこういうお世話していただく人は若い人はいないんですね。結局、高齢者だと思うんですよ。元気な高齢者が元気でない高齢者を支援していく、そういったボランティアだと思うので、それこそ、僅かな有償ボランティア、これは非常にありがたいことじゃないかなと思いますので、この8期で検討していきますじゃなくて、速やかに検討していただいて実現してほしいというのが感想です。

それからもう1点が、82 ページ、災害対策の推進で、避難行動要支援者と地域のつながりを深めて支援する体制に取り組んでいますと、今の現状が述べられているんですけども、これは恐らく防災企画課のほうで主管してやられていると思うんですが、実態はそこまでいってないんじゃないかと思うんですね。コミュニティのほうから見たら、いつもこの問題出てくるんですよ。要支援者というのは確かに市のほうが、平成25年の国の法律の改正に基づいて、各市でそういった要支援者を把握することということに流れて、26年から市民に投げかけて要支援をしてほしい人と手を挙げてもらってですね。最初の初年度はその回答率が高くて、かなりの数が集

まっています。それ以降に調査したら非常に少なくなっている。何でそういうことになったかという、そういう要支援者ということで手を挙げれば、市のほうが助けてくれるというふうに理解してエントリーした方が結構多いんですよ。現状、今はそういうのは何もなく、地域のほうでそういう支え合っていきましょうと。この互助の精神というのはここにもありますから非常に良いことなんですけど、地域でそれができているかといったらなかなか取り組みが遅れているんじゃないかと思うんですよね。ということは、これは防災企画のほうで音頭とってもらっていませんけども、それをさらに介護の面からも含めて、これは必要なことじゃないかと思うんで、防災企画課のほうと連携しながらやってほしいなというふうに思っています。以上です。

【会長】

はい、ありがとうございます。今の御意見について、市のほうから何か。どうぞ。

【事務局】

最後のこの防災の避難行動、要支援者と地域とのつながりというところですけども、まさにおっしゃっていただいたように、防災企画課のほうで取り組んでいる内容となっております。この点につきましては、委員に御指摘いただきましたとおり、介護保険課、高齢者の福祉担当部局としても、災害担当部局と連携して、より進んでいくように、相互に連携を図っていかれたらと思っております。

【委員】

側面からも支援してください。

【事務局】

はい。

【会長】

最初の御質問でありました 8 期の特徴をわかりやすく、そして 7 期からの積み残し、9 期へという、その辺については何かございますか。

【事務局】

この 9 期に向けての 8 期というのは、まさにおっしゃられているとおりでございまして、この点、より 9 期につながる取り組みとして、重点的に 8 期、どういったものを行っていくか、そこがわかりやすく表記できるように、また、次回の運営協議会に最終的に御提出させていただく最終稿、素案の中でお示しできればと考えております。

【委員】

やはりメリハリがつけばね、わかりやすいと思うんですよね。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

【会長】

はい、ありがとうございます。それでは、ほかに何かございませんでしょうか。どうぞ。

【委員】

たくさんのボリュームのある御説明ありがとうございました。いろんな調査に基づいて、何が必要であるかという課題に基づいて、様々な細やかな計画を立てていただいているというのが感想です。

細かいことではないんですけれども、先ほどのコメントの中にありましたように、いろんなところで説明をされるということなんですかね。その前提で、これを拝見したときの私の感想を述べたいと思うんですけれど、31 ページのところからなりますけれども、基本理念があって、それで計画の 5 つの基本目標というものが掲げられています。この一つ一つにいろんな文章というか、方針のようなものが書かれていまして、そこからの 33 ページの、施策の体系というのが書かれています。この 2 番目の基本目標に書かれている一つ一つの内容と、それらが体制のところの大きい方向の 1 から 1、2、3、4 というふうにありますけど、そこが、常に整合性を持たれているとすっきりするなと思ったんです。いろいろ線を引きながら、基本目標の 1 の、この部分が、施策の方向のここだなあという整合性を確認したときに、施策の方向に書かれているものと、その細項目に書かれているものがちょっと今回文書の中で混在していましたので、そこは、大きな方向のところは述べられて、だからこういう施策、それぞれの中で、何とかの充実とか、何とかの把握とかいうようなものが整備されると、見る側としては混乱なく、説得力のあるものになる

かなというふうに思いました。

中には、施策の方向に関して書かれてないような、文章上にないようなものがありましたので、そこがすっきりするといいなというのと、あと施策の体系の諸細項目①とか②とありますけれど、ここが、表現としては、実施レベルで書かれている、計画ですからもちろんそうなんですけど、実施レベルで書かれているものと、事業で止まっているものがありますので、示し方としては計画ですから、評価をするときにしやすいように、例えば基本目標の2番目のところの2のところは何かの充実と書かれていて、その充実させる事業の事業名称が書かれていますので、基本目標2と5がそういうのが結構多くて、2と3、2、4、ですか。1と3に関しては、何かの推進とか実践レベルで書かれているので、そこは統一されるといいのかなと思います。

でも細かいところを見ていると、本当に細かく、実際の計画が書かれているので、そういうことかと思って見るんですけど、事業だけ書かれると、具体的にどのようなことをするのかなというところが見えづらいなというのがありましたので、これは感想ですけども、採用されてもどちらでもいいんですが、読み手としてはそのように感じましたので、お伝えしたいと思います。

【会長】

はい。只今の意見に対して何かありますか。

【事務局】

はい。御意見、御感想ありがとうございます。この点は、先ほどのメリハリをつけるということと併せて、できる限り修正できる箇所は修正をあげていきたいと考えております。どうもありがとうございます。

【会長】

はい、ありがとうございます。ほかに、ございませんか。

【委員】

すみません、1点だけ。データの解釈を教えてくださいんですけど。61ページ、それと79ページ、この2つを見比べたときなんですけども、配食の利用者数ですかね、それと実施回数。61ページのほうは、この配食サービスを利用した人が30年度が31と24、79ページ、これも同じような配食サービスなんですけども、利用者数が若干数字が違うんですけども、この辺の違いというのはどういうことなんでしょうか。

【会長】

どうぞ。

【事務局】

まずこの61ページと78ページの、どちらも配食サービスを記載しているんですけども、それぞれ事業内容が違っていて、2つ表記をさせてもらっています。

まず、61ページのこちらの配食サービスについては、要支援認定者及び事業対象者に対してというのが、こちら61ページです。78ページのほうは、要介護認定者が対象になっておりますので、同じ配食サービスなんですけれども、事業対象者が違うために2つに分けさせていただいております。

ただ、今、委員さんが言われるとおり、61ページのほうは、実績と見込みというところで表がありますけれども、実利用者数と実施回数、78ページのほうは、79ページになりますけれども、実利用者数と延べ配食数ということで表現が違いますので、この辺はまた検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

【会長】

はい、ありがとうございます。ほかは、よろしいでしょうか。

はい、意見も出尽くしたようですので、今日はいろいろと貴重な御意見、御感想を賜っております。これを今後の施策に生かすべく、事務局としては対応させていただいて、良いものができ上がるようお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(2) その他

【会長】

次に、その他になりますが、何か、事務局のほうは。どうぞ。

【事務局】

はい。次回の開催について御案内させていただきます。次回第5回の開催につきましては、本日開催通知を机の上に配付させていただいておりますけれども、12月10日木曜日、時間は同じく18時30分からということで、今回は、パブリックコメントを実施するに当たりまして、その案を皆様に協議していただく予定にしていますので、どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

【会長】

はい、ありがとうございます。

4 閉会

【会長】

ほかになければ、これで閉会といたします。よろしいでしょうか。はい。本日はお疲れさまでした。

委員

委員
